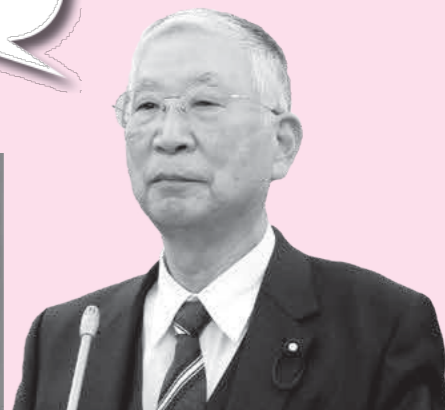


矢川樋管排水訓練の成果は



高橋茂樹



町長

ポンプの効果及び課題等を確認



矢川樋管の排水訓練

質問 五料地内にある矢川樋管の排水訓練の成果は。

答弁 町長 台風等の大雨発生時を想定し、9月に排水訓練を実施した。水門を全閉し水位1・1メートルまで水を溜め、毎分2立方メートルを排水できるポンプを2台設置し、強制的に排水を行った。水門閉鎖による水位の上昇がほとんどなかったことから、排水ポンプの一定の効果を確認することができた。また、設置に要する手順や準備に要する時間及び設置方法の課題等が確認できた。

浸水被害の発生恐れがあるとき等には、事前に排水ポンプ3台を設置し対応を図る。

質問 避難所設営訓練の成果は。

答弁 町長 7月4日に町内小学校の体育館において、避難所開設及び受入れの訓練を実施した。コロナ禍における受付方法や設置に係る時間や手順、避難所のレイアウトを確認し、タブレット端末を活用した避難所と災害対策本部の情報伝達訓練も同時に行うことができた。今後も訓練等を定期的に行い、災害に備えたい。

生活相談支援事業について

質問 生活や就労に対する支援は。

答弁 町長 玉村町の自立相談社会福祉協議会で、自立相談支援事業や住宅確保給付金の支給などを行っている。役場ではなんでも福祉相談窓口を健康福祉課と子ども育成課にて行っており、フードバンクの利用や

生活保護相談、生活困窮者への支援を行っている。

また、役場とハローワークとの連携について、群馬労働局と相談しながら研究しているところである。

経済対策について

質問 中小企業者への経済支援策は。

答弁 町長 「玉村町小口資金」として、町内で1年以上事業を継続している中小企業者を対象に、運転資金・設備資金を融資している。さらに、小口資金の利子補給・保証料補助を実施している。また、その他の融資の利子補給や信用保証料の補助、売上げが減少した個人事業主を対象とした助成金の交付を行っている。

こんな質問もしています

- ・新型コロナウイルスによって2年間中止した事業の再開を
- ・タクシー券の利用状況について

通学路の点検と対策は行政の義務



備前島久仁子



町長

伊勢崎警察へ早期対応を要望した

質問 全国的に通学路で子供たちが巻き込まれる事故が後を絶たない。危険箇所のリストアップや、白線が消えている横断歩道や止まれる路面標示の改善、グリーンベルトの設置等の対策は進んでいるのか。

答弁 町長 通学路の危険箇所は、町の関係する各課と伊勢崎土木事務所及び伊勢崎警察署とともに、毎年、合同点検を実施している。今年度は通学路を含め、町内の消えかかっている一時停止や横断歩道の道路標示復旧について、伊勢崎警察署長へ要望書を提出し、早急な対応を要望した。

地域住民への見守りの呼びかけは

質問 下校する子供たちを見守る目として、少しでも多くの地域の皆さんの協力を得られるよう呼びかけをしてほしいが。



下校を見守る地域の皆さん

答弁 町長 各地域でボランティア見守り活動を実施している。町では子供の下校時を見守る防犯の役割と、明るい挨拶や温かい声かけが町中に広まるよう、あいさつ・声かけ運動を実施している。今後とも広報等で呼びかけをしていく。

中高生の自転車事故の撲滅を

質問 群馬県中高生生の通学時の自転車事故件数は、中学生が全国でワースト2位、高校生は全国で最も多い。自転車事故を減らす対策と指導は

どうなっているか。

答弁 教育長 群馬県では自転車保険加入の義務化と、自転車用ヘルメット着用の努力義務化が令和3年4月から施行となった。中学校では4月に「交通安全教室」を実施し、適正と認められる生徒に校長が自転車通学を許可している。生徒が安全に対する危機管理能力を高められるよう指導支援していく。

質問 カルバートの中を通過して通学している小中学生もいるが、見通しが悪い上に狭くとても危険だ。「通学路につき減速」の看板を設置できないか。

答弁 環境安全課長 学校等と相談しながら検討していきたい。

こんな質問もしています

- ・行政のデジタル化は情報共有を進めるためにも必須であり、推進を